

令和7年度 自己評価書

学校名	北海道苫小牧西高等学校
-----	-------------

1 本年度の重点目標

生徒一人ひとりの資質能力を磨くとともに、「自立と共生」の精神を育成する
 (1)基礎学力の確実な定着と自発的に学習に取り組む態度の育成
 (2)豊かな人間性と寛容性、公正な判断力や社会性の育成
 (3)健康・体力の増進と自他の生命を尊重する態度の育成
 (4)主体的に自分の生き方を考え、進路を切り拓く力の育成
 (5)広い視野と教養を身に付け、社会の発展に貢献する態度の育成

2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
学習指導	教育課程・授業改善等	ICTの積極的な活用を通じて、個別最適な学びと協働的学びを実現できるよう授業改善に努めている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	①ICT活用は進んでいるが、個別最適な学びと協働的学びの実践についてはさらに改善につとめる。教科内外での授業実践研修を通じて各教科の取り組みを理解し相互理解を促し教科横断的な学習活動実践につなげていく。 ②ICTの効果的効率的な活用について引き続き実践的な研修会を開催する。 ③教育課程が完成し、指導と観点別評価の一体化やあり方を検証する。
		学力の3要素を意識し不断に授業改善を行い、評価の改善と検証を実施する。(生徒に対するアンケートの結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
		教職員研修を活性化させ、地域や生徒の状況に応じた社会に開かれた特色ある教育課程の編成や実践している。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
	学習意欲・学力向上等	基礎学力向上のため、学習習慣の定着を図ることができている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
生徒指導	生徒指導等	多様な生徒一人ひとりの学習のモチベーションを維持向上させる指導に努めることができた。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	①生徒の学習意欲を高める指導となるよう、探究的な学びや教科横断的な学びについて、さらに研修を深め実践力を高める。 ②民間の学習ツールを活用し、基礎学力の定着・家庭学習の習慣化、進路に向けた高い学力を養う。授業との関連性を高め、面談時の資料としても活用を進める。 いじめ予防と事後対応を学校評価に明確に位置づける。年度初めにいじめ防止及びいじめ発生後の対応を学校Webページに掲載公表し、年度初めに生徒及び保護者に周知することで、防止対策、事後対応を明確化・透明化し、生徒及び保護者の安心感につなげる。
		生徒の規範意識を高め、規律正しい生活習慣を身に付けさせる指導を行っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	A	B	
		自他の生命尊重の心を育み、いじめのない学校を目指した取り組みができている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
		生徒の話を傾聴し、先延ばしにせず、丁寧な指導(個に応じた指導)を行っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	A	B	
	特別活動	家庭や関係機関との連携、教員間の連携等、日頃からの情報共有を大切にし、指導方針の共通理解、一本化を図り、実践することができている。(保護者に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
進路指導	キャリア教育	生徒会行事ならびに生徒会・委員会活動は、内容の充実と改善を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	A	B	活動を通して生徒が自分自身の成長を実感できるものとなるよう生徒会の活動内容充実と改善を図る。 ①各学年で実施している進路講演会を、生徒の意欲向上につながるような内容について工夫する。 ②面接指導について試験等の実態、情報収集とその共有に務め、統一した指導をおこなう。 ③進路希望調査等のデータを活用し、進路希望に即した各種模試、進路講習を計画する。
		小論文指導を推進し、社会で必要とされる読解力や表現力の育成を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
		進学講習をはじめ、進学希望に応じた指導の充実を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
		全員の就職内定を目指し、積極的な情報提供を行うとともに、学年と連携した就職指導の充実を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
	外部機関連携	上級学校・企業等、外部機関との連携を強化し、生徒の進路意識の高揚を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
健康・安全指導	健康安全	各学年における進路指導計画を策定し、キャリア教育の充実を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	A	B	インターンシップは、勤労の尊さや創造の喜びを体得し、職業観の形成につながるよう協力企業と連携し実施時期・内容等について改善を図る。 ①日常的な保健指導、感染症対策や情報提供を継続し、集団感染を防止する。 ②防災教育を継続し、自他の生命を守る意識と地域に貢献する心を育む。地域住民との連携のあり方について検討する。
		小論文指導を推進し、社会で必要とされる読解力や表現力の育成を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
	教育相談等	防災に対する知識や訓練を実施し、生徒が主体的に防災活動に臨む態度を育成することができた。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	A	
		生徒の健全な成長や発達を共感的に支援する相談活動の充実にも努めることができた。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
組織運営	主体的な自己実現	学校不適応傾向を示す生徒の早期発見、早期対応に努めている。また、校内における特別支援教育の充実に向け、組織の強化を図っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	①不安や悩みを抱える生徒への対応や気になる生徒の状況を教職員間で定期的に情報共有できるよう委員会を開催する。 ②サポート委員会の構成員と役割をたえず見直し改善を図る。 進路多様校として、進路希望の実現を可能とする生徒への働きかけや効果的な手立てを模索し示していく。 保護者や地域へ学校ウェブページ掲載やメール配信で積極的に情報発信に努める。
		経営参画意識と協働意識を持ち、信頼される学校づくりを行っている。(保護者に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	
	信頼される学校づくり	生徒一人ひとりを大切にし、生徒が主体的に進路実現に向かう学校づくりを行っている。(生徒に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価A、2.6以上を評価B、2.6未満を評価Cとする。)	B	B	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

生徒または保護者に対するアンケート結果で肯定的な評価となる3.5以上を評価Aと設定し、全項目、評価Aまたは前年度比+0.2p以上を指標として教育活動に取り組む。

- 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTの積極的な活用、観点別評価(学力の3要素)を常に意識した一層の授業改善を図る。
- 学習意欲の向上・維持を図るために、生徒一人ひとりへの具体的な対応について、学年及び教科が情報共有し連携した指導に努める。
- いじめや不登校の未然防止に努め、予防的な取組や適切な対応を教育相談などを通じて組織的な対応に努める。
- 支援を必要とする生徒の情報共有と学級担任・教科担任間の連携の効率化、サポート委員会を中心とした支援の充実を図る。
- 総合的な探究の時間の充実のための適切な計画と実施と多様な進路希望の実現のためにキャリア教育を推進する。